

令和2年度 事業計画

1. はじめに

日本の総人口に占める65歳以上の割合を示す高齢化率は、約30%と諸外国と比較し、非常に高くなっています。

また、生産年齢人口は、ピーク時から1,170万人以上少なくなる中で、高齢者の就業率は上昇しています。

現在の日本の経済状況は、人手不足が続く中、最低賃金が過去最高の上げ幅となり、内需を中心に緩やかな回復を続け、雇用環境が好転していると言われています。

そして、この春から同一労働同一賃金がスタートすることで、経済社会が大きく変化していき、生活環境も一層多様化していくことが考えられます。

また、高齢者のうち8割の方が、65歳を超えても働きたいと願っており、働く意欲のある高齢者にとって、人生100年時代の到来は、大きなチャンスになるかもしれません。

その中には、意欲と能力のあふれる女性がたくさんおり、その持てる可能性を十二分に開花させることができれば、シルバー人材センターの存在価値は大きく変わると考えられます。

全国のシルバー人材センターでは、「第2次会員100万人計画」のもと、会員の拡大に取り組んでいます。

当センターでも会員数が10年ぶりに1,000人を超え、特に、女性の会員が増え、その活躍の場を広げています。

本年度は、第3次中期計画(2018年度～2022年度)の3年度目となり、この計画では、「センター体制の強化」、「会員数の拡大」、「就業機会の拡大」、「地域活動及び交流活動の活性化」、「安全就業の推進」、「広報活動の充実」を掲げており、本年度も地域活動及び交流活動の活性化に意を用い、就業だけにとらわれない新しいセンターの魅力を発信していきます。

今後も、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、就業機会の確保と提供に意を注ぐとともに、高齢者の生きがいの充実と地域の活性化を図り、活力ある地域社会づくりに寄与し、魅力あるシルバー人材センターを目指していきます。

2. 事業実施計画

(1) センター体制の強化

会員による自主的な運営をサポートする事務局の体制の強化を図るため、次の項目に取り組みます。

- ① 事務局体制の検討・強化
- ② 生涯現役推進協議会との連携

(2) 会員数の拡大

会員数を拡充し、センターの発展と活性化を図るため、次の項目に取り組みます。

- ① 入会説明会の検討
- ② 入会促進策の検討
- ③ 退会防止策の検討
- ④ 女性会員の拡充

(3) 就業機会の拡大

会員が希望する仕事や、高齢会員でも就業できる仕事を開拓するため、次の項目に取り組みます。

- ① 新たな独自事業の検討
- ② ハローワーク等との連携強化
- ③ 就業の適正化の推進

(4) 地域活動及び交流活動の活性化

会員が、ボランティア活動等の地域社会へ参加し、生きがいの充実を図り、地域社会の活性化の活性化に貢献するため、次の項目に取り組みます。

- ① 地域貢献活動の検討
- ② 会員相互の交流機会の拡充

(5) 安全就業の推進

安全就業の徹底と健康の維持管理、体力づくりなどを図るため、次の項目に取り組みます。

- ① 安全意識の啓発・徹底
- ② 安全巡回の実施
- ③ 健康管理・体力づくりのための事業の検討
- ④ 健康診断の受診促進

(6) 広報活動の充実

効果的な情報発信の検討とセンターの認知度を上げるため、次の項目に取り組みます。

- ① 地域情報誌の活用
- ② 様々な広報形態の検討
- ③ 会員への情報発信及び周知方法の検討